

# カタログの管理

この章は、次の項で構成されています。

- カタログ管理について、1 ページ
- カタログの公開, 3 ページ
- 詳細カタログの公開について, 13 ページ
- 詳細カタログの公開, 13 ページ
- ベアメタルサーバカタログの作成,15ページ
- フォルダ内のカタログの並べ替え、18 ページ
- 展開するホストへのアクセス, 19 ページ
- カタログフォルダの並べ替え, 19 ページ

# カタログ管理について

事前定義されたカタログ項目を使用して仮想マシン(VM)およびベアメタル(BM)のセルフプ ロビジョニングができます。システム管理者のみがカタログを作成できます。カタログでは、VM をバインドするクラウドの名前およびグループの名前などのパラメータを定義します。

次のフォルダはデフォルトで使用可能になっています。それらは編集したり削除したりすること はできません。

- •標準
- 詳細設定
- ・サービス コンテナ
- ・ベアメタル

カタログ管理に役立つものとして、Cisco UCS Director ではフォルダ内の類似カタログをグループ 化できます。カタログの作成時には、前に作成したフォルダに追加するか、新しいフォルダの作 成を選択できます。フォルダはカタログが含まれている場合にのみ表示されます。

[カタログ(Catalog)]ページの[フォルダの管理(Manage Folder)]オプションでは、次のタスク を実行できます。

- フォルダの編集:ユーザが作成したフォルダの名前や、すべてのフォルダを表すフォルダア イコンを変更します。デフォルトフォルダの名前は変更できません。
- フォルダの削除: Cisco UCS Director からフォルダを削除します。このフォルダにカタログが 含まれていると、これらのカタログはカタログタイプに基づいてデフォルトで使用可能な フォルダに自動的に移動されます。

デフォルトフォルダは削除できません。

 フォルダのリストの並び替え:フォルダが[カタログ(Catalog)]ページに表示される順序を 変更します。デフォルトでは、フォルダはアルファベット順に表示されます。



**重要** Cisco UCS Director を最新バージョンにアップグレードした場合は、以前のバージョンで作成 されたすべてのカタログはカタログ タイプに基づいて、使用可能なフォルダにデフォルトで グループ化されます。

デフォルトでは、カタログがタイルビュー形式で表示されます。テーブルビュー形式でカタ ログを表示することもできます。テーブルビュー形式とタイルビュー形式を切り替えるには、 画面右端のオプションを使用します。テーブルビュー形式では、すべてのフォルダを展開す るか、または折りたたむオプションを使用できます。

[カタログ(Catalog)]ページでは、サービス リクエストを作成できます。[サービス リクエストの作成(Create Service Request)]をクリックして、標準カタログタイプを使用したサービス リクエストの作成 に記載されている手順を実行します。

(注)

[カタログ (Catalogs)]オプションをメニューバーに表示させると、カタログ関連のすべての オプションに簡単にアクセスできます。インターフェイスの右上にあるユーザ名をクリック し、[ユーザ情報 (User Information)]ダイアログボックスの[カタログ (Catalogs)]タブを選 択し、[カタログの有効化 (Enable Catalogs)]チェックボックスをオンにします。

## カタログの公開

手順

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- **ステップ2** [カタログ (Catalogs) ]ページで、[追加 (Add) ]をクリックします。
- **ステップ3** [カタログの追加(Add Catalog)]画面で、追加するカタログタイプを選択します。 次のいずれかを設定できます。
  - •[標準(Standard)]: クラウドリストにあるイメージを使用して VM プロビジョニングのためのカタログを作成する場合に使用します。
  - •[詳細(Advanced)]:カタログ項目などのオーケストレーション ワークフローを公開する場合に使用します。
  - •[サービスコンテナ(Service Container)]:カタログ項目としてアプリケーションコンテナを 公開する場合に使用します。
  - •[ベア メタル(Bare Metal)]: ベア メタル サーバのプロビジョニング用のカタログを作成す るために使用します。

ベア メタル カタログの作成方法については、ベア メタル サーバ カタログの作成, (15ページ)を参照してください。

- ステップ4 [送信 (Submit)]をクリックします。
- **ステップ5** [カタログの追加(Add Catalog)]の[基本情報(Basic Information)]画面で、次を含む必須フィー ルドに値を入力します。

名前	説明
[カタログ名 (Catalog Name)]フィールド	カタログの名前を入力します。
	(注) 作成後にカタログ名は変更できません。
[カタログの説明(Catalog Description)] フィー ルド	カタログの説明を入力します。
[カタログ タイプ(Catalog Type)] ドロップダ ウン リスト	以前選択したカタログのタイプを表示します。 カタログ タイプを変更するには、この手順を キャンセルしてから再開する必要があります。
[カタログアイコン(Catalog Icon)] ドロップダ ウン リスト	このカタログに関連付けるイメージのアイコン をリストから選択します。このアイコンは、こ のカタログを使用してサービスリクエストを作 成するときに表示されます。

名前	説明
[すべてのグループに適用(Applied to all groups)] チェック ボックス	すべてのグループがこのカタログを使用できる ようにする場合に、このボックスをオンにしま す。他のグループの使用を拒否するには、この チェック ボックスをオフのままにします。
[サポートの問い合わせ先の電子メールアドレス (Support Contact Email Address)]フィールド	このカタログ項目を使用してサービスリクエス トが作成された際に通知が送信されるサポート 担当者の電子メール アドレスを入力します。
[選択されたグループ(Selected Groups)] リスト	特定のユーザグループを選択する場合に、リス トを展開して、このチェックボックスをクリッ クします。オンにしたグループは、新しい VM をプロビジョニングするときにこのカタログを 使用します。 [Validate] をクリックします。
[エンドユーザへ公開(Publish to end users)] チェック ボックス	デフォルトでは、このボックスはオンになって います。このカタログがエンドユーザに表示さ れないようにするには、このボックスをオフに します。このボックスをオフにしなかった場 合、このカタログはエンドユーザに表示されま す。
[クラウド名(Cloud Name)] ドロップダウン リ スト	VM プロビジョニング用のイメージがあるクラ ウドを選択します。
[ISOマウント用の新しいVMのプロビジョニン グ (Provision new VM for ISO mounting)]チェッ ク ボックス	選択されたイメージから新しいVMを複製する 場合に、このボックスをオンにします。この チェック ボックスをオンにしない場合、空の VM が作成されます。

I

Γ

名前	説明	
[イメージ(Image)] リスト	このカタログを使用してVMをプロビジョニン グするときに使用するイメージのタイプ(イ メージを構成する Windows ファイル、Linux ファイル、およびその他のファイルなどの既存 のテンプレート)を選択し、[検証(Validate)] をクリックします。	
	グループ管理者である場合や、カタログを作成 する権限のあるグループのユーザである場合 は、属しているグループに割り当てられたイ メージがこのフィールドに表示されます。	
	自身が MSP 管理者である場合は、属している MSP 組織とその MSP 組織内のグループに割り 当てられたイメージがこのフィールドに表示さ れます。	
[コンテンツ ライブラリ VM テンプレートを使 用した新しい VM のプロビジョニング (Provision new VM using Content Library VM Template)]チェック ボックス	コンテンツライブラリVMテンプレートを使用 して新しいVMがプロビジョニングされている ことを確認する場合に、このボックスをチェッ クします。	
	このオプションを選択した場合、[イメージ (Image)] リストは非表示になります。	
[コンテンツ ライブラリ VM テンプレート (Content Library VM Template) ] リスト	コンテンツライブラリVMテンプレートを選択 します。	
[Windows ライセンス プール (Windows License	Windows ライセンスを入力します。	
Pool)]フィールド	<ul> <li>(注) このフィールドは、Windows イメージが選択されて場合にのみ表示されます。このオプションは、RHEV</li> <li>KVMコネクタではサポートされません。</li> </ul>	

名前	説明
[ReadyClone の使用(Use ReadyClone)] チェッ ク ボックス	VM が ReadyClones を使用して導入されるよう にする場合に、このボックスをオンにします。
	このボックスをオンにすると、[リンク済み複製 の使用(Use Linked Clone)]チェックボックス と[単一データストアのすべてのディスクをプ ロビジョニングします(Provision all disks in single datastore)]のチェックボックスは編集で きなくなります。
	(注) このチェック ボックスは次の場合は 表示されません。
	1.選択したイメージが HX データスト ア上にない。
	2.VM に複数のディスクがある。
[リンク済み複製の使用(Use Linked Clone)] チェック ボックス	リンク済みの複製を使用する場合にこのボック スをオンにします。
	リンクされた複製かフル複製かは、ストレージ ポリシーで選択したリンクされた複製によって 異なります。
	<ul><li>(注) このフィールドは、スナップショットイメージが選択されている場合にのみ表示されます。</li></ul>
[単一データストアのすべてのディスクをプロビ ジョニング(Provision all disks in single datastore)] チェック ボックス	単一データストアのすべてのディスクをプロビ ジョニングする場合にこのボックスをオンにし ます。ストレージポリシーで各ディスクに対し て設定されているデータストアを使用すること も選択できます。 複数ディスク ストレージ ポリシーの作成の詳
	細については、ポリシーの管理を参照してください。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、選択したテンプレートに複数のディスクがある場合にのみ表示されます。このオプションは、RHEV KVM コネクタではサポートされません。</li> </ul>

名前	説明
[サービス コンテナ テンプレート名(Service Container Template Name)] ドロップダウン リ スト	リストからテンプレートを選択します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、選択したカタロ グタイプが[サービス コンテナ (Service Container)]である場合にの み表示されます。</li> </ul>
[フォルダの選択(Select Folder)] ドロップダウ ンリスト	このカタログの作成先となるフォルダを選択し ます。
	<ul> <li>(注) ドロップダウンリストには、デフォルトで使用可能なフォルダの名前が含まれます。使用可能なフォルダを選択するか、または[フォルダの新規作成(Create New Folder)]をクリックします。</li> <li>[新しいフォルダの追加(Add New Folder)]画面で[フォルダ名(Folder Name)]にフォルダ名を入力し、[フォルダアイコン(Folder Icon)]を選択して[追加(Add)]をクリックします。</li> </ul>
[ベアメタルサーバプロビジョニングポリシー (Bare Metal Server Provisioning Policy)]ドロッ プダウンリスト	<ul> <li>(注) このフィールドは、選択したカタロ グタイプが [ベアメタル(Bare Metal)]である場合にのみ表示されま す。</li> </ul>
[サービス リクエストのサポート用電子メール (Configure Service Request Support Email)] の チェック ボックス	ユーザがサービスリクエストのステータスの送 信にサポート用電子メールを設定できるように する場合に、このボックスをオンにします。

**ステップ6** [次へ (Next)]をクリックします。

I

**ステップ7** [カタログの追加(Add Catalog)]の[アプリケーションの詳細(Application Details)] 画面で、次 を含む必須フィールドに値を入力します。

名前	説明
[カテゴリ(Category)] リスト	リストを展開して VDC カテゴリを選択し、[選 択(Select)] をクリックします。

名前	説明	
[オーバーライド(Override)] チェック ボック ス	サービス リクエストを使用した VM のプロビ ジョニング時に、選択したカテゴリをユーザが オーバーライドできるようにする場合に、この ボックスをオンにします。	
[サポートの問い合わせ先の電子メールアドレス (Support Contact Email Address)]フィールド	このカタログ項目を使用してサービスリクエス トが作成されたときに通知が送信される連絡先 の電子メール アドレスを入力します。	
[OSの指定(Specify OS)] ドロップダウンリス ト	VMのプロビジョニング時に、VMにインストー ルされる OS のタイプを選択します。	
	(注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。	
[他のOSの指定(Specify Other OS)]フィールド	[OSの指定(Specify OS)] ドロップダウンリス トで選択できない OS を入力します。	
	(注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。	
[アプリケーションの指定(Specify Applications)] チェック ボックス	プロビジョニング時にVMにインストールする アプリケーションを指定する場合に、該当する ボックスをオンにします。	
	(注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。	
[他のアプリケーションの指定 (Specify Other Applications)]フィールド	[アプリケーションの指定(Specify Applications)]チェックボックスから使用でき ない他のアプリケーションを入力します。	
	(注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。	

I

名前	説明
[アプリケーションコード (Application Code)] フィールド	VM名に使用するアプリケーションコードを入 力します。
	アプリケーション コードは1~4文字です (例:W2K3、DB、WS)。VM 名のシステム ポリシーでアプリケーションコードを使用する には、変数 \${APPCODE} を使用します。
	たとえば VM 名のテンプレートが vm-\${GROUP_NAME}-\${APPCODE} の場合、 システムポリシーを使用してプロビジョニング された VM の名前は vm-groupname-W2K3 にな ります。
	(注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。

- **ステップ8** [次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ9** [カタログの追加(Add Catalog)]の[ユーザクレデンシャル(User credentials)] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します。

(注)	このオプションは、	RHEV KVM コネ	クタではサポー	トされませ
	$\mathcal{N}_{\circ}$			

名前	説明
[クレデンシャル オプション(Credential Options)] ドロップダウン リスト	ユーザに対し、VM アクセスクレデンシャル (共有)の取得を許可するか、または禁止する かを選択します。次のオプションを使用できま す。
	・共有しない
	・パスワード リセット後に共有する
	<ul> <li>テンプレートクレデンシャルを共有する</li> </ul>
	管理者が Cisco UCS Director 外部の別のユーザ にクレデンシャルをプライベートに送信する場 合は、[共有しないでください (Do not share)] オプションを選択します。
[ユーザ ID (User ID)]フィールド	ユーザ ID を入力します。
	<ul><li>(注) このフィールドは、[クレデンシャル オプション (Credential Options)]で 共有されているときのみ使用できま す。</li></ul>

名前	説明
[パスワード (Password)]フィールド	パスワードを入力します。
	(注) このフィールドは、[クレデンシャル オプション(Credential Options)]で 共有されているときのみ使用できま す。

- **ステップ10** [次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ11** [カタログの追加(Add Catalog)]の[カスタマイズ(Customization)]画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します。

名前	説明
[自動ゲストカスタマイズの有効化(Automatic Guest Customization Enable)] チェックボックス	自動ゲストカスタマイズを有効にする場合に、 このボックスをオンにします。
	このチェック ボックスをオンにしない場合、 Cisco UCS Director では DNS、ネットワーク、 およびゲストOSプロパティが設定されません。
[プロビジョニング後のカスタム アクションの 有効化(Post Provisioning Custom Actions Enable)] チェック ボックス	VMのプロビジョニング後にオーケストレーショ ンワークフローを有効にする場合に、このボッ クスをオンにします。
[ワークフロー(Workflow)]ドロップダウンリ スト	プロビジョニング用に定義されたワークフロー を選択します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[プロビジョニン グ後のカスタム アクションの有効化 (Post Provisioning Custom Actions Enable)]がオンの場合に表示されま す。</li> </ul>
[仮想ストレージ カタログの有効化(Virtual Storage Catalog Enable)] チェック ボックス	仮想ストレージ カタログからストレージ エン ティティを選択する場合に、このボックスをオ ンにします。
[仮想ストレージカタログ (Virtual Storage Catalog)]ドロップダウンリスト	カタログからストレージ エントリを選択しま す。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[仮想ストレージ カタログの有効化(Virtual Storage Catalog Enable)]がオンの場合に表示 されます。</li> </ul>
コスト計算	

名前	説明
[請求期間 (Charge Duration)] ドロップダウン リスト	[毎時 (Hourly)]または[毎月 (Monthly)]を選 択します。
[アクティブな VM アプリケーションのコスト (USD) (Active VM Application Cost USD)] フィールド	テンプレートに含まれているアプリケーション コストを入力します。 (注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。
[非アクティブな VM アプリケーションのコス ト(USD)(Inactive VM Application Cost USD)] フィールド	非アクティブな状態のVMのこのカタログにか かる毎時または毎月のコストを入力します。 (注) このオプションは、RHEV KVM コネ クタではサポートされません。
VM ライフサイクル設定	
[リース時間(Lease Time)] チェック ボックス	リース時間(日数と時間数)を定義する場合 に、このボックスをオンにします。
[日数 (Days)]フィールド	これを行うには、日数を入力します。
	<ul><li>(注) このフィールドは、[リース時間 (Lease Time)]がオンになっている 場合に表示されます。</li></ul>
[時間(Hours)] フィールド	時間数を入力します。
	<ul><li>(注) このフィールドは、[リース時間 (Lease Time)]がオンになっている 場合に表示されます。</li></ul>
[エンドユーザのリース設定を非表示 (Hide end user lease configuration)] チェック ボックス	サービスユーザによってVMのリース時間が設 定されないようにするには、このボックスをオ ンにします。
[VM のプロビジョニング後のエンド ユーザを 非表示(Hide end user VM provision later)] チェック ボックス	サービスユーザによって、後からVMがプロビ ジョニングされないようにするには、このボッ クスをオンにします。

**ステップ12** [次へ (Next)]をクリックします。

I

ステップ13 [カタログの追加(Add Catalog)]の[VM アクセス(VM Access)] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します。

名前	説明
[Web アクセス設定の有効化(Web Access Configuration Enable)] チェック ボックス	VMへのWebアクセスを有効にする場合に、こ のボックスをオンにします。デフォルトでは、 このチェックボックスはオフになっており、 WebからのVMへのアクセスは無効になってい ます。
[URL] フィールド	VM の URL を入力します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[Web アクセス設定の有効化(Web Access Configuration Enable)]がオンの場合に表示されます。</li> </ul>
[ラベル (Label) ]フィールド	この URL に定義されたラベルを入力します。
	<ul><li>(注) このフィールドは、[Web アクセス設定の有効化(Web Access Configuration Enable)]がオンの場合に表示されます。</li></ul>
[リモート デスクトップのアクセス設定の有効 化(Remote Desktop Access Configuration Enable)] チェック ボックス	VM へのリモート アクセスを有効にする場合 に、このボックスをオンにします。デフォルト では、このチェックボックスはオフになってお り、リモートデスクトップからのVMへのアク セスは無効になっています。
[サーバ (Server)]フィールド	サーバのリモート アクセス用 IP アドレスを入 力します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[リモートデスクトップのアクセス設定の有効化</li> <li>(Remote Desktop Access Configuration Enable)]がオンの場合に表示されます。</li> </ul>
[ポート (Port)]フィールド	サーバのリモートアクセス用ポート番号を入力 します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[リモートデスクトップのアクセス設定の有効化</li> <li>(Remote Desktop Access Configuration Enable)]がオンの場合に表示されます。</li> </ul>

名前	説明
[ラベル (Label)]フィールド	このリモートアクセスに定義されたラベルを入 力します。
	<ul> <li>(注) このフィールドは、[リモートデスクトップのアクセス設定の有効化</li> <li>(Remote Desktop Access Configuration Enable)]がオンの場合に表示されます。</li> </ul>
[VMRC コンソール設定の有効化(VMRC Console Configuration Enable)] チェック ボック ス	VMRCコンソールがVMにアクセスできるよう にする場合に、このボックスをオンにします。 デフォルトでは、このチェックボックスはオフ になっており、VMRCコンソールからのVMへ のアクセスは無効になっています。

- ステップ14 [次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ15** [カタログの追加(Add Catalog)]の[概要(Summary)]画面に表示されたカタログ情報を確認し ます。
- ステップ16 [送信 (Submit)]をクリックします。

## 詳細カタログの公開について

高度なカタログタイプを選択すると、ワークフローカタログをプロビジョニングできます。エン ドユーザはサービス要求中にこれらのカタログとワークフローを実行できます。詳細カタログ項 目は、グループ名やワークフローなどのパラメータを定義して作成します。

# 詳細カタログの公開

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- **ステップ2** [カタログ (Catalog)]ページで、[追加 (Add)]をクリックします。
- ステップ3 [カタログの追加(Catalog Add)] 画面で、[カタログ タイプ(Catalog Type)] ドロップダウン リ ストから [詳細(Advanced)] を選択します。
- ステップ4 [送信 (Submit)]をクリックします。
- ステップ5 [カタログの追加(Add Catalog)] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します。

名前	説明
[基本情報(Basic Information)] ペイン	
[カタログ名(Catalog Name)] フィールド	カタログの名前。
[カタログの説明(Catalog Description)] フィー ルド	カタログの説明。
[カタログ タイプ(Catalog Type)]	[詳細(Advanced)] を選択します。
[カタログアイコン(Catalog Icon)] ドロップダ ウン リスト	このカタログに関連付けるイメージのアイコン を選択します。アイコンは、このカタログを使 用してサービスリクエストを作成するときに表 示されます。
[すべてのグループに適用(Applied to all groups)] チェック ボックス	すべてのグループがこのカタログを使用できる ようにするには、このチェックボックスをオン にします。デフォルトでは、このチェックボッ クスはオフになっているため、すべてのグルー プがこのカタログを使用できないことを意味し ます。
[サポートの問い合わせ先の電子メールアドレス (Support Contact Email Address)]フィールド	サポート担当者の電子メール アドレス。
選択済みグループ(Selected Groups)	[選択(Select)]をクリックし、以下の操作を行 います。
	<ol> <li>(任意) [すべてオン (Check All)]をクリッ クしてすべてのカテゴリを選択するか、ま たは[すべてオフ (Check None)]をクリッ クしてすべてのカテゴリを選択解除します。</li> </ol>
	2 [項目の選択 (Select Items)]ダイアログボッ クスで、追加するグループをオンにします。 オンにしたグループは、新しい VM をプロ ビジョニングするときにこのカタログを使 用できます。
	<b>3</b> [選択 (Select)]をクリックして、カテゴリの選択を終了します。

名前	説明
[エンドユーザへ公開(Publish to end users)] チェック ボックス	デフォルトで、このチェックボックスはオンに なっており、カタログがエンドユーザに提供さ れることを意味します。このカタログがエンド ユーザに表示されないようにするには、この チェックボックスをオフにします。
[フォルダの選択(Select Folder)] ドロップダウ ン リスト	<ul> <li>このカタログを作成するフォルダを選択します。</li> <li>(注) ドロップダウンリストには、すでに利用可能なフォルダの名前が表示されています。利用可能なフォルダを選択するか、+アイコンをクリックして新しいフォルダを作成します。</li> <li>新しいフォルダを作成します。</li> <li>新しいフォルダの追加(Add New Folder)]ダイアログボックスで、フォルダ名を指定し、そのフォルダのアイコンを選択します。</li> </ul>
[サービス リクエスト サポートの電子メールの 設定(Configure Service Request Support Email)] フィールド	サービス リクエスト ステータスの電子メール を送信する必要がある電子メールアドレスを指 定する場合にこのチェックボックスをオンにし ます。

- **ステップ6** [次へ (Next)]をクリックします。
- **ステップ7** [vApp ワークフロー (vApp Workflow)]ペインで、[ワークフローの選択 (Workflow Select)]をクリックします。
- **ステップ8** [選択 (Select)]ペインで、適切なワークフローの横のチェックボックスをオンにします。
- ステップ9 [選択 (Select)]をクリックします。
- ステップ10 [サマリー (Summary)]ページのカタログ情報を確認します。
- ステップ11 [送信 (Submit)]をクリックします。

# ベア メタル サーバ カタログの作成

### はじめる前に

I

ベア メタル プロビジョニング ポリシーを作成する必要があります。

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- **ステップ2** [カタログ (Catalog)] ページで、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ3 [カタログの追加(Add Catalog)]画面で、カタログタイプとして[ベアメタル(Bare Metal)]を 選択します。
- ステップ4 [送信 (Submit)]をクリックします。
- ステップ5 [カタログの追加(Add Catalog)] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します。

[名前(Name)]	説明
[基本情報(Basic Information)] ペイン	
[カタログ名 (Catalog Name)]フィールド	カタログの名前を入力します。
	(注) 一度作成されたカタログ名は変更で きません。
[カタログの説明(Catalog Description)] フィー ルド	カタログの説明を入力します。
[カタログ タイプ(Catalog Type)] ドロップダ ウン リスト	このフィールドは編集できません。ベアメタル が表示されます。
[カタログアイコン(Catalog Icon)] ドロップダ ウン リスト	このカタログに関連付けるイメージのアイコン をリストから選択します。このアイコンは、こ のカタログを使用してサービスリクエストを作 成するときに表示されます。
[すべてのグループに適用(Applied to all groups)] チェック ボックス	すべてのグループがこのカタログを使用できる ようにするには、このチェックボックスをオン にします。他のグループの使用を拒否するに は、このチェックボックスをオフのままにしま す。
[サポートの問い合わせ先の電子メールアドレス (Support Contact Email Address)]フィールド	サポート担当者の電子メールアドレスを指定し ます。
	これらのユーザは、カタログを使用したベアメ タルサーバのプロビジョニングのステータスに 関する電子メール通知を受け取ります。
	<ul><li>(注) また、この通知メールはベアメタル サーバのプロビジョニングを開始し たユーザにも送信されます。</li></ul>

[名前(Name)]	説明
[選択されたグループ(Selected Groups)] チェッ ク ボックス リスト	[選択した項目 (Select Items)]ダイアログボッ クスに含まれているグループのチェックボック スをオンにします。オンにしたグループは、新 しいベア メタル サーバをプロビジョニングす るときにこのカタログを使用します。
[エンドユーザへ公開(Publish to end users)] チェック ボックス	デフォルトでは、このチェックボックスはオン になっています。このカタログがエンドユーザ に表示されないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。このチェックボック スをオフにしない場合、このカタログはシステ ムのエンドユーザに表示されます。
[フォルダの選択(Select Folder)] ドロップダウ ンリスト	<ul> <li>このカタログの作成先となるフォルダを選択します。</li> <li>(注) ドロップダウンリストには、デフォルトで使用可能なフォルダの名前が含まれます。利用可能なフォルダを選択するか、+アイコンをクリックして新しいフォルダを作成します。</li> <li>新しいフォルダを作成するためには、 [新しいフォルダを作成するためには、 [新しいフォルダの追加 (Add New Folder)]ダイアログボックスで、フォルダ名を指定し、そのフォルダのアイコンを選択します。</li> </ul>
[ベアメタルサーバプロビジョニングポリシー (Bare Metal Server Provisioning Policy)]ドロッ プダウンリスト	ベア メタル プロビジョニング ポリシーを選択 します。
[サービス リクエストのサポート用電子メール (Configure Service Request Support Email)]の チェック ボックス	デフォルトでは、このチェックボックスはオフ になっています。サービスリクエストのステー タスを電子メールで送信する場合、電子メール アドレスを指定するには、このチェックボック スをオンにします。

**ステップ6** [次へ (Next)]をクリックします。

I

ステップ7 ベアメタル ワークフローペインで、[選択(Selec)]をクリックし、ベアメタル サーバのプロビジョニング ワークフローを選択します。 ベアメタルのワークフローを作成するには、最低限、次の一連のタスクを含める必要があります。

- ・ベア メタル プロビジョニング ラッパー
- UCS サーバを選択 (Select UCS Server)
- [テンプレートからの UCS サービス プロファイルの作成 (Create UCS Service Profile from Template)]
- •[UCS サービス プロファイルの関連付け(Associate UCS Service Profile)]
- •BMA 選択を使用した PXE ブートのセットアップ (Setup PXE Boot With BMA Selection)
- UCS サーバの電源オン (Power On UCS Server)
- [PXE ブートのモニタ (Monitor PXE Boot)]
- •[UCS サービス プロファイル ブート ポリシーの変更(Modify UCS Service Profile Boot Policy)]
- UCS サーバの電源オン (Power On UCS Server)
- ・グループへのUCSサーバの割り当て (Assign UCS Server to Group)
- **ステップ8** [次へ (Next)]をクリックします。
- ステップ9 [概要(Summary)]ペインのカタログ情報を確認します。
- ステップ10 [送信 (Submit)]をクリックします。

### 次の作業

このカタログを使用して、ベア メタル サーバ用のサービス リクエストを作成できます。

## フォルダ内のカタログの並べ替え

デフォルトでは、フォルダ内のカタログはアルファベット順に表示されますが、順番をカスタマ イズできます。

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- ステップ2 [カタログ (Catalog)]ページで、フォルダを展開し、そのフォルダ内のカタログを表示します。
- ステップ3 リストからカタログを選択します。
- ステップ4 [上へ移動(Move Up)]または[下へ移動(Move Down)]オプションを選択して、カタログの順序を並べ替えます。

## 展開するホストへのアクセス

カタログ項目を選択して、展開可能なホストを評価し、除外されたホストの理由を入力できます。 この評価をすべての設定済み VDC で実行するか、または特定の VDC で実行するかを選択できま す。

#### 手順

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- **ステップ2** [カタログ (Catalog)]ページで、アクセスするカタログエントリを選択します。
- **ステップ3** [導入可能性に関するアセスメント (Deployability Assessment)]をクリックします。
- **ステップ4** [vDC の選択(Select vDC)] 画面で、次を含む必須フィールドに値を入力します

フィールド	説明
[すべてのVDCでアセスメントを実行する(Run Assessment Across all VDCs)] チェック ボック ス	デフォルトではチェックボックスがオンになっ ており、このカタログ項目がすべての VDC で 評価されることを意味します。特定の VDC を 選択する場合は、このチェックボックスをオフ にします。
[VDC の選択(Select VDC)] フィールド	[選択 (Select)]をクリックし、カタログ項目の 評価対象とする VDC のチェック ボックスをオ ンにします。 リストには、選択されたカタログのユーザ グ ループに関連付けられたすべての VDC が表示 されます。

- ステップ5 [送信 (Submit)]をクリックします。
- **ステップ6** [導入可能性に関するアセスメント (Deployability Assessment)]レポートを確認した後、[閉じる (Close)]をクリックします。

# カタログ フォルダの並べ替え

デフォルトでは、カタログフォルダはアルファベット順に表示されますが、順番をカスタマイズ できます。

- ステップ1 [ポリシー (Policies)]>[カタログ (Catalogs)]を選択します。
- **ステップ2** [フォルダの管理 (Manage Folder)]をクリックします。
- **ステップ3** [マネージャフォルダ (Manager Folder)] 画面で、カタログフォルダを選択し、フォルダの順序 を変更する矢印を使用します。
- ステップ4 [送信 (Submit)]をクリックします。